

# 老舗宝飾店のこだわりが光る 高品質グレスウォッチ

ウエムペ WEMPE

2020年、ウエムペは約10年ぶりとなる新シリーズ“アイアンウォーカー”を投入。手頃な価格ながらも、その仕上がりはウエムペのこだわりが随所に光るハイレベルなものだ。

文◎堀内大輔 (編集部)



アイアンウォーカー  
オートマチック 40

高層ビルが相次いで建設された1920年代のニューヨーク、この建設に従事した鉄工員にインスパイアされた新しい腕時計の設計が始まりました。ウエムペの「Iron Walker(アイアンウォーカー)」。ウエムペのこだわりである高い外装クオリティが追求されると同時に、ケースの厚みを抑えて優れた美観度も実現した。なおこの「オートマチック」では40mm径のほか、36mm径の「カ」



コブのみに絞り、仕上げを磨き上げを施すことでケースの厚みを抑えて、自立した存在感を演出。またケースの裏面に合わせて、ステンレス自体も滑く仕立てられているため、シャツの袖口にもスムーズに納まる



クロノグラフ  
ダイヤル仕様も展開

クロノグラフには30気圧防水を備えたダイヤル仕様と、30気圧防水仕様もラインナップしている。いずれも3針仕様と同様に高品質の外装が与えられており、厚みも抑えられた。ちなみに「鉄工員」を意味する英訳語は、正しく「Iron Worker」が、本作では「Walker」を用いて、それを効かせた。

■(左) Ref. W1300002、10気圧防水、自動巻き(Cal. ETA753)。61万円

■(右) Ref. W1200001、30気圧防水、自動巻き(Cal. ETA2892-A2)。49万5000円。ともにSSケース&ブレス、ケース径42mm。

「ウエムペは、ドイツの歴史ある時計メーカーとして、その伝統と技術を大切に守りながら、最新のテクノロジーを取り入れ、高品質の時計を製造しています。その中でも、特に注目を集めているのが、この「アイアンウォーカー」シリーズです。これは、1920年代のニューヨークで、高層ビルの建設に従事した鉄工員にインスパイアされた新しい腕時計の設計が始まりました。ウエムペの「Iron Walker(アイアンウォーカー)」。ウエムペのこだわりである高い外装クオリティが追求されると同時に、ケースの厚みを抑えて優れた美観度も実現した。なおこの「オートマチック」では40mm径のほか、36mm径の「カ」

「ウエムペは、ドイツの歴史ある時計メーカーとして、その伝統と技術を大切に守りながら、最新のテクノロジーを取り入れ、高品質の時計を製造しています。その中でも、特に注目を集めているのが、この「アイアンウォーカー」シリーズです。これは、1920年代のニューヨークで、高層ビルの建設に従事した鉄工員にインスパイアされた新しい腕時計の設計が始まりました。ウエムペの「Iron Walker(アイアンウォーカー)」。ウエムペのこだわりである高い外装クオリティが追求されると同時に、ケースの厚みを抑えて優れた美観度も実現した。なおこの「オートマチック」では40mm径のほか、36mm径の「カ」

「ウエムペは、ドイツの歴史ある時計メーカーとして、その伝統と技術を大切に守りながら、最新のテクノロジーを取り入れ、高品質の時計を製造しています。その中でも、特に注目を集めているのが、この「アイアンウォーカー」シリーズです。これは、1920年代のニューヨークで、高層ビルの建設に従事した鉄工員にインスパイアされた新しい腕時計の設計が始まりました。ウエムペの「Iron Walker(アイアンウォーカー)」。ウエムペのこだわりである高い外装クオリティが追求されると同時に、ケースの厚みを抑えて優れた美観度も実現した。なおこの「オートマチック」では40mm径のほか、36mm径の「カ」

アイアンウォーカー  
オートマチック 40